

令和5年9月 「はこでみ親の会 フォローアップ！」

長い夏休みを経て、学校が始まり、子どもも保護者も1日の流れを再び整えるために、フルパワーで悪戦苦闘している9月。

今回のフォローアップの中でも、嬉しかったこと。大変だったこと。新たな悩み。親子関係の変化。溜まりに溜まった日頃の鬱憤など、話題に事欠かず大いに盛り上がりました。

そんな中、お話の中で出てきた大切なポイントは、「変化(成長)」です。

あるお母様は、「ご主人の変化について。」子どもが痙攣を起こした時、決まって怒鳴り散らしていたご主人が、怒鳴ることなく静かに優しく微笑みながら子どもと話をしてくれたと、とても嬉しそうに話をされていました。

また、あるお母様は、「子どもの二泊三日の自然教室への出発について。」自然教室の準備が本格的に始まる1ヶ月前から、班に別れての活動の中で自分自身が足手まといになることが不安で、「行きたくないな」と嘆き続けた我が子が、今までなら身体が固まって一歩も動けなくなっていたのに、支援級在籍の同級生仲間と自然教室当日の朝の待ち合わせの約束を自らしてきて、不安な気持ちを切り替えて出発していきましてとお話してくれました。

また、あるお母様は、「我が子からの初めてのSOSについて。」親の心配をよそに自ら高校の先生に相談して、就職を希望する会社の面接試験をトントン拍子に決めてしまう我が子。今までは「何とかなるやろ。今までも何とかあったし。」と親が長年行ってきた必死のサポートは我関せず、ひたすらマイペースで困りごとがないことが困った点だったのが、今回初めて「今回の就職試験が駄目だったら助けて欲しい」と素直にSOSを出してきましたと、嬉しいやら変わらずマイペースなのやら複雑な心境ですとお話してくれました。

どのお母様も長年本当に懸命に我が子と向き合い根気よく寄り添っていらっしゃいます。時には感情が爆発して激しい親子喧嘩になったことも1度や2度ではありません。

しかし、そんな大変な中でも我が子の「変化」をしっかり捉え、「成長」として前向きに受け入れていらっしゃいます。(長年の格闘と我が子への深い愛情の成果です！)

「まだまだ先は長いですね。」と大きく息を吐きながら、それでも皆さん視線はしっかり前を向いていらっしゃいました。

